

2010年度 定例総会議事録

表記の総会が、2010年5月20日(木)17時15分より統計数理研究所にて開催された。岩崎 学氏を議長に選出し、以下の事項が報告・承認された。(委任状 87)。

I. 2009年度事業報告(2009.04.01~2010.03.31)

1. 概 況

2009年度は、鎌倉稔成会長、富澤貞男副会長をはじめとする15名の理事、ならびに赤平昌文、神保雅一両監事の体制で活動した。

2009年度は新型インフルエンザの影響で、5月に予定していた年会・総会やチュートリアルをそれぞれ8月、11月に延期することとなった。その影響で、チュートリアルの収入が予算の10分の1となり赤字になるなど、学会運営に少なからぬ影響があった。一方で、2009年年会から新たに設けられたポスターセッションは盛況であり、学生会員の人数増につながったと思われる。

財務は引き続き苦しい状況にある。会員数の減少が留まるどころを知らず、2010年3月31日現在で553名(2009年3月31日570名、2008年3月31日596名)という状況である。先に述べたチュートリアルの赤字を除いたとしても、当期収入よりも支出が上回っている。繰越金の残高から考えると、このままの状況では5年程度で破綻する計算である。年会費の値上げ、会員増への方策、チュートリアルのあり方など、長期的な視野に立った計画を早急に考える必要がある。

会員数は2010年3月31日現在、正会員534名、学生会員19名、賛助会員6社、機関・団体購読は47件である(昨年度は、正556、学14、賛5、機・団49と、本年度いずれも減少)。

2. 総会の開催

総会を2009年8月1日(土)に統計数理研究所で開催した。

3. 評議員会

2009年8月1日(土)に定例評議員会を開催し、総会に付議する事項等について審議した。

4. 理事会

2009年4月15日(水)、5月27日(水)~5月31日(日)、9月7日(水)、2010年4月17日(土)の計4回開催し、学会の運営に関する事項について審議した。審議内容を要録として学会誌およびホームページに掲載した。

5. 機関誌編集

「応用統計学」Vol.38のNo.1, 2, 3を発行した。Vol.38の掲載原稿は、研究論文7編、覚え書1編、その他3編で、総計180頁(昨年156頁、一昨年212頁)である。

6. 応用統計学会論文賞の授与

「応用統計学」に掲載された論文から選考し、以下のように学会論文賞を授与した。

(a) 優秀論文賞

黒木 学、「未観測交絡因子が存在する場合の総合効果の識別可能条件」、Vol.36, No.2&3.

(b) 奨励論文賞

Hai-Yen Siew, Shogo Kato, Kunio Shimizu, 「The Generalized t -Distribution on the

Circle], Vol.37, No.1.

7. 統計関連学会連合大会

統計関連学会連合大会を2009年9月6日(日)~9日(水)に同志社大学(京田辺キャンパス)(京都市)で開催した(応用統計学会・日本計算機統計学会・日本計量生物学会・日本行動計量学会・日本統計学会の共催, 日本分類学会の協賛). 本学会としてはこの連合大会をシンポジウムとした.

企画セッション(16セッション), 一般セッション(41セッション), コンペティション(15件), 統計分析・データ・教育ソフトウェアセッション(13件), チュートリアルセミナー, 市民講演が行われた. 大会参加者は838名であった. 企画セッションの中で, 応用統計学会の学会賞受賞者講演を行った. また, チュートリアルセミナー(参加者220名)が行われた(昨年度は大会参加者が848名, チュートリアルセミナー参加者が377名).

8. 年会

2009年度年会を2009年8月1日(土)に統計数理研究所で開催した. 特別講演3件, 一般講演7件の発表があった. また, ポスターセッションを行い11件のポスター発表が行われ, 新たに設立した優秀ポスター発表賞として以下の6名を選出した.

朝倉こう子(大阪大学) 榎本理恵(東京理科大学) 清水時子(中央大学)

田畑耕治(東京理科大学) 原 綾子(東京理科大学) 山本紘司(東京理科大学)

参加者は91名(正会員(含協賛学会員)52名, 学生会員34名, 非会員5名)であった(昨年度の参加者は115名).

9. チュートリアルセミナー

2009年11月28日(金)に京都大学医学部で開催し, 金明哲氏(同志社大学)に「テキストマイニングの基本的な考え方と諸種の実践事例」について講演いただいた. 参加者は21名(正会員(含協賛学会員)14名, 学生4名, 非会員3名)であった(昨年度の参加者は132名).

10. 優秀ポスター発表賞の設立について

若手会員の研究のより一層の活性化を奨励することを目的に, 優秀ポスター発表賞を設立した. 受賞対象者は発表の時点で満35歳以下の会員(ただし発表時点で入会予定者も含み, 共著の場合は筆頭著者に限る)である.

11. 統計関連学会との協調について

以下の各委員会に当学会よりそれぞれの委員会の担当理事および特別任務を担当する学会員が出席した.

◎統計関連学会連合

理事会(2009年4月11日, 6月2日~15日, 8月6日~9月3日, 9月9日, 11月21日, 2010年4月10日)

◎統計関連学会連合大会

2009年度大会: 組織委員会(4回), プログラム委員会(3回), 運営委員会(2回)

2010年度大会: 組織委員会(1回), プログラム委員会(2回)

◎統計教育推進委員会

統計教育シンポジウム(2009年5月16日)

理数系教員指導力研修(2009年12月27~28日)

◎横断型基幹科学技術研究団体連合(横幹連合)

総会(2009年4月20日)

総会(2010年4月7日)

◎リスク研究ネットワーク

リスク研究ネットワーク情報交換会(2010年2月24日)

総会(2010年2月24日)

12. ホームページおよびメーリングリストの充実

ホームページを常に更新し、学会員への情報公開を円滑にし、また、メーリングリストによる情報公開を行った。

その他の事業についてはWebにて公開していますので、そちらを参照下さい。

II. 2009年度決算報告(自2009年4月1日～至2010年3月31日)

1. 収入の部

(単位 円)			
勘定科目	決算額	予算額	差額
1. 会費収入	2,840,210	2,610,000	230,210
(1)正会員	2,657,710	2,465,000	192,710
(2)学生会員	62,500	25,000	37,500
(3)賛助会員	120,000	120,000	0
2. 雑誌売上収入	260,400	210,000	50,400
(1)購読料収入	260,400	210,000	50,400
(2)バックナンバー売上	0	0	0
3. 広告料	110,000	200,000	▲90,000
4. 別刷り・カラー印刷収入	38,200	150,000	▲111,800
5. 年会等関係収入	372,000	670,000	▲298,000
(1)年会収入	325,000	270,000	55,000
(2)チュートリアル収入	47,000	400,000	▲353,000
6. 雑収入(著作権料・利息等)	73,977	50,000	23,977
当期収入合計	3,694,787	3,890,000	▲195,213
前期繰越金	3,284,352	3,284,352	0
収入合計	6,979,139	7,174,352	▲195,213

会費収入に関する補足

2010年3月31日現在会員553名(2010年3月末で退会予定の15名を含める)

内訳 正会員 534名

学生会員 19名

正会員収入内訳

2008年度まで 135,000円(16名) ※ 2003-2008年度1名, 2006-2008年度1名,
2007-2008年度4名, 2008年度10名

2009年度 1,462,710円(294名)

2010年度から 1,060,000円(212名)

学生収入内訳

2008年度まで 7,500円(1名) 2006-2008年度1名

2009年度 35,000円(14名)

2010年度から 20,000円(8名)

会費納入率 89.60%(前年度に納入された1,014,790円を含める)

機関購読数 47件

2. 支出の部

(単位 円)

勘定科目	決算額	予算額	差額
1. 機関誌関係費	2,101,426	2,026,720	74,706
(1)印刷費	1,575,000	1,600,000	△ 25,000
(2)校正費	150,000	100,000	50,000
(3)英文校正費	0	0	0
(4)通信・発送費	369,706	320,000	49,706
(5)PDF化費	6,720	6,720	0
2. 年会等関係費	488,671	620,000	△ 131,329
(1)年会支出	310,516	400,000	△ 89,484
(2)チュートリアル支出	178,155	220,000	△ 41,845
(3)共催国際会議支出	0	0	0
3. 管理費	1,504,412	1,665,000	△ 160,588
(1)事務委託費	1,160,000	1,160,000	0
(2)消耗品費	110,452	200,000	△ 89,548
(3)会議費	77,513	80,000	△ 2,487
(4)雑費	89,167	80,000	9,167
(5)名簿作成費	0	0	0
(6)事務合理化費	10,710	20,000	△ 9,290
(7)選挙費	56,570	125,000	△ 68,430
4. 役員旅費補助	63,020	300,000	△ 236,980
5. 関連学会協調事業費	108,300	180,000	△ 71,700
(1)関連学会年会費	80,000	80,000	0
(2)連合大会	28,300	100,000	△ 71,700
6. 学会賞	69,648	70,000	△ 352
当期支出合計	4,335,477	4,861,720	△ 526,243
収支差額(次年度繰越金)	2,643,662	2,312,632	331,030
支出合計	6,979,139	7,174,352	△ 195,213

※「応用統計学」Vol.38-1, 38-2, 38-3

2010 年度への繰越金の内訳

(単位 円)

項目	2009年3月31日現在	2010年3月31日現在
銀行預金	646,285	503,133
郵便貯金	1,332,490	1,338,421
定額貯金	1,000,000	500,000
郵便振替	295,988	301,588
現金	9,589	520
合計	3,284,352	2,643,662

会計監査報告書

応用統計学会殿

応用統計学会会則に基づき、2009年4月1日より2010年3月31日までの会計経理を監査した結果、会計報告のとおり相違ないことを認めます。

2010年4月10日

監事

神保 雅一 (印)

赤平 昌文 (印)

III. 2010 年度事業計画(2010.04.01～2011.03.31)

1. 機関誌の発行

「応用統計学」Vol.39 を発行する。

2. 応用統計学会論文賞の授与

「応用統計学」に掲載された論文の中から優秀な論文に学会賞を授与する。

3. 年会の開催

2010 年度年会を 2010 年 5 月 20 日(木)に統計数理研究所にて開催し、総会、および評議員会を行なう。

4. チュートリアルセミナーの開催

2010 年 5 月 21 日(金)に統計数理研究所にて開催し、三中信宏氏(農業環境技術研究所)に「分類試行と統計思考：R を用いた分類パターンの認識」について講演いただく。

5. 統計関連学会連合大会でのシンポジウムの開催

2010 年度統計関連学会連合大会を 2010 年 9 月 5 日(日)～8 日(水)に早稲田大学(早稲田キャンパス)にて開催する。応用統計学会・日本計算機統計学会・日本計量生物学会・日本行動計量学会・日本統計学会・日本分類学会が共催する。応用統計学会としては、これをシンポジウムとする。企画セッションとして、学会賞受賞者の記念講演を行うことを予定している。

6. 必要に応じてその他の研究集会を開催する。また、科研集会を支援する。

7. 統計関連学会をはじめ、関係学会との協調を促進する。

8. 会員増強に努めるなど、運営資金不足の打開を図る。

9. ホームページの充実をはかり、学会員への情報公開を円滑に行う。

10. その他

以下の会合と協調して事業を進めると共に、追加で依頼があれば適宜検討し、可能な限り協力する方向で協議する。

(a) 横断型基幹科学技術研究団体連合(横幹連合)の加盟を継続

(b) リスク研究ネットワークの加盟を継続

IV. 2010 年度予算(自 2010 年 4 月 1 日～至 2011 年 3 月 31 日)

1. 収入の部

(単位 円)

勘 定 科 目	2009 年度予算	2009 年度実績	2010 年度予算
1. 会費収入	2,610,000	2,840,210	2,652,500
(1) 正会員	2,465,000	2,657,710	2,490,000
(2) 学生会員	25,000	62,500	42,500
(3) 賛助会員	120,000	120,000	120,000
2. 雑誌売上収入	210,000	260,400	243,600
(1) 購読料収入	210,000	260,400	243,600
(2) バックナンバー売上	0	0	0
3. 広告料	200,000	110,000	200,000
4. 別刷り・カラー印刷収入	150,000	38,200	150,000
5. 年会等関係収入	670,000	372,000	520,000
(1) 年会収入	270,000	325,000	320,000
(2) チュートリアル収入	400,000	47,000	200,000
6. 雑収入(著作権料・利息等)	50,000	73,977	70,000
当期収入合計	3,890,000	3,694,787	3,836,100
前期繰越金	3,284,352	3,284,352	2,643,662
収入合計	7,174,352	6,979,139	6,479,762

個人会員の会費納入率を 90%として

正会員…498 名(553 名×0.90)×5,000 円=2,625,000 円

学生会員…17 名(19 名×0.9)×2,500 円=42,500 円

賛助会員…6 件×20,000 円=120,000 円

購読料収入…58 部(48 件)×6,000 円×0.7(マテマティカ手数料)=243,600 円

2. 支出の部

(単位 円)

勘定科目	2009年度予算	2009年度実績	2010年度予算
1. 機関誌関係費	2,026,720	2,101,426	2,170,000
(1)印刷費	1,600,000	1,575,000	1,650,000
(2)校正費	100,000	150,000	150,000
(3)英文校正費	0	0	0
(4)通信・発送費	320,000	369,706	370,000
(5)PDF化費	6,720	6,720	0
2. 年会等関係費	620,000	488,671	420,000
(1)年会支出	400,000	310,516	320,000
(2)チュートリアル支出	220,000	178,155	100,000
(3)共催国際会議支出	0	0	0
3. 管理費	1,665,000	1,504,412	1,530,000
(1)事務委託費	1,160,000	1,160,000	1,160,000
(2)消耗品費	200,000	110,452	120,000
(3)会議費	80,000	77,513	80,000
(4)雑費	80,000	89,167	80,000
(5)名簿作成費	0	0	0
(6)事務合理化費	20,000	10,710	20,000
(7)選挙費	125,000	56,570	70,000
4. 役員旅費補助	300,000	63,020	200,000
5. 関連学会協調事業費	180,000	108,300	110,000
(1)関連学会年会費	80,000	80,000	80,000
(2)連合大会	100,000	28,300	30,000
6. 学会賞	70,000	69,648	70,000
小計	4,861,720	4,335,477	4,500,000
7. 予備費	2,312,632	2,643,662	1,979,762
当期支出合計	7,174,352	6,979,139	6,479,762

- 1. 機関紙関係費 印刷費…39巻1-3号の1号につき55万円として算出
PDF化費…35巻から無償提供のため、費用は0円
- 5. 関連学会協調事業費 関連学会年会費…横断型基幹科学技術研究団体連合年会費5万円、
統計関連学会連合年会費3万円を含む

V. 会長・副会長・評議員選挙結果について

2010-2011 年度会長，副会長，評議員選挙の結果，以下の方々が当選した。

- 会長： 椿 広計
- 副会長：渡辺美智子
- 評議員(23名)：

水田正弘(北日本・北関東)，折笠秀樹(北日本・北関東)，
岩崎 学(南関東)， 瀬尾 隆(南関東)，
狩野 裕(東海近畿)， 黒木 学(東海近畿)，
栗原考次(西日本)， 小西貞則(西日本)，
赤平昌文，大瀧 慈，鎌倉稔成，栗木 哲，佐藤 学，
白旗慎吾，杉山高一，辻谷将明，富澤貞男，鳩山由紀夫，
濱崎俊光，広津千尋，藤井良宜，南美穂子，柳川 堯，

VI. 新 理 事

2010-2011 年度理事，監事を以下の通り承認した。

会長： 椿 広計
副会長： 渡辺美智子
庶務(文書)： 大西俊郎
庶務(組織)： 栗木 哲
庶務理事(広報)： 藤井良宜
会計： 宮崎浩一
編集： 永田 靖 黒木 学
企画理事： 清水邦夫 瀬尾 隆
無任所： 鎌倉稔成 水田正弘 中西寛子 鈴木督久 會田雅人
監事(2名)： 広津千尋 小西貞則

VII. 応用統計学 投稿ジャンル名称変更

応用統計学の投稿ジャンル「覚え書」を「研究ノート」に変更する旨が報告された。